

視能訓練士生涯教育単位表

【発表等】

2021年4月現在

開催規模	主催・認定事業	学会等の名称	筆頭	共同	講師/シンポジスト		
国内	全国	(公益社団法人) 日本視能訓練士協会	日本視能矯正学会 (口頭)	3	1	5	4
			日本視能矯正学会 (展示)	2	1		
			日本視能矯正学会 生涯教育セミナー			4	
			総会に伴う講演会と研修会	3	1	4	3
		(公益財団法人) 医療研修推進財団	実習施設指導者等養成講習会			5	
		※1 一覧表の学会 (口頭)	3	1	5	4	
		※1 一覧表の学会 (展示)	2	1			
		※2 一覧表の学会 (口頭・展示)	2	1	5	4	
		※4 の講習会・研修会			5	4	
		協会が共催または後援する学会の視能訓練士プログラム	2	1	5	4	
	協会が共催または後援する事業	※6 協会が共催または後援する会	2	1	5	4	
		※7 一覧表の学会	2	1			
地方	認定事業	地域視能訓練士会	1		3		
国際	IOA加盟国	※3 一覧表の学会 (口頭)	4	1	6	5	
		※3 一覧表の学会 (展示)	3	1			
		IOA加盟国主催学会	2	1	4	3	

【誌上発表】

	発行機関	掲載誌等の名称	筆頭	第2	第3
邦文	(公益社団法人) 日本視能訓練士協会	日本視能訓練士協会誌	5	3	1
		※1、2 関連雑誌	5	3	1
欧文	※3	※3 関連雑誌	6	3	1
	※5	※5 その他の雑誌	6	3	1

【学会参加】

開催規模	主催・認定事業	学会等の名称		
国内	全国	(公益社団法人) 日本視能訓練士協会	日本視能矯正学会	6 (2011年度までは4)
			日本視能矯正学会 生涯教育セミナー	1
			日本視能矯正学会 認定視能訓練士セミナー	1
			総会に伴う講演会と研修会	5 (2011年度までは3)
		(公益財団法人) 医療研修推進財団	実習施設指導者等養成講習会	6 (2011年度までは8)
		※1 一覧表の学会		4
		※2 一覧表の学会		2
		※4 一覧表の学会		1
			協会が共催または後援する学会の視能訓練士プログラム	1
		協会が共催または後援する事業	※6 協会が共催または後援する会	1日1単位・2日以上3単位 ※2日以上で分割可能な場合 1日1単位
	※7 一覧表の学会	1		
地方	認定事業	地域視能訓練士会	1	
国際	IOA加盟国	※3	5	
		IOA加盟国主催学会	3	

【その他の単位取得】

国内	全国	(公益社団法人) 日本視能訓練士協会	指定論文への解答	0.5
			施設見学	1
			指導者育成研修会	1項目につき 1

注) 単位数は「単位に関する留意事項」を必ず参照すること

●単位に関する留意事項

1. 発表者には出席の単位も加算される。
2. 2つ以上の学会が合同で行なわれる場合でも同時進行の場合は片方の単位とし、日数の増加があるときは考慮する。なお、すでに単位申請が認められている学会との共同開催であったとしても単位申請が認められていない学会名での単位申請はできない。
3. 地域主催の勉強会等については所定の手続きにより生涯教育事業の認定を受けること。
(生涯教育事業認定申請書XI - 1)
4. 地域主催の勉強会等の参加については3時間以上を1単位、1.5時間～3時間未満では0.5単位とする。1年間に複数回参加しても取得単位は合わせて1単位までとする。発表の単位に制限はない。
5. 協会が主催する施設見学は1単位として年1回まで認める。施設見学研修実施証明証発行。
6. 国際学会では参加証明書もしくは領収書のコピーを単位証明とする。
7. 認定視能訓練士および認定専任教員の更新条件として1年間に最低0.5単位以上の取得を義務とする。
8. 毎年発刊される日本視能訓練士協会誌の指定論文を読み、協会誌に添付されている問題の解答を生涯教育部に送ることで0.5単位を認める(解答の送信方法は協会誌に記載された方法で実施すること)。
9. ※1～※7については下記事業一覧を参照のこと。(2013年4月以降、下記学会に限る)

※1 一覧表		
日本眼科学会総会	日本臨床眼科学会	日本弱視斜視学会総会
日本小児眼科学会総会	日本神経眼科学会総会	日本医学会総会
日本ロービジョン学会総会		

※2 一覧表 (2日以上開催の学会)		
日本眼科手術学会総会	日本白内障学会総会	日本糖尿病眼学会
日本白内障屈折矯正手術学会 (JSCRS 学術総会)		日本眼光学学会総会
日本緑内障学会	日本眼薬理学会	日本コンタクトレンズ学会総会
日本視野画像学会学術集会 (2013年度開催以降)		日本涙道・涙液学会
日本眼感染症学会	日本眼炎症学会	日本眼循環学会
角膜カンファランス・日本角膜移植学会		日本眼腫瘍学会
日本臨床視覚電気生理学会	日本網膜硝子体学会総会	日本リハビリテーション医学会
日本近視学会総会 (2018年度開催以降)		日本小児神経学会
日本リハビリテーション連携科学学会		日本発達障害学会
日本小児精神神経学会	日本小児保健協会学術集会	日本臨床神経生理学会
日本医学教育学会	日本保健医療福祉連携教育学会	日本LD学会
日本特殊教育学会	全国視能訓練士学校協会教員研修	
日本心理学会	日本認知心理学会	日本発達心理学会
日本神経心理学会	日本教育心理学会	日本応用心理学会
認知神経科学会	応用物理学会	日本光学会

※3 一覧表 (国際学会)		
国際視能矯正学会 (IOA congress)	国際斜視学会 (ISA)	ヨーロッパ斜視学会 (ESA)
国際ロービジョン学会 (ISLRR)	国際眼科学会 (WOC)	米国眼科学会議 (AAO)
視覚と眼科学協会会議 (ARVO)	国際視野画像学会 (IPS)	
北米神経科学会 (Society for Neuroscience)		
Organization for Human Brain Mapping (OHBM)		
国際近視学会 (International Myopia Conference)		

※3 国際視野画像学会 (IPS) 2018 年開催、国際近視学会 (IMC) 2019 年開催のワンデーパスは 1 単位

※4 日本弱視斜視学会・日本小児眼科学会合同講習会は 1 単位、日本ロービジョン学会研修会 1、2 はそれぞれ 0.5 単位ずつ (ともに 2013 年度開催以降)

※5 査読付き

※6 一覧表 (類似した名称のセミナーがありますのでご注意ください)	
眼光学チュートリアルセミナー	視覚生理学基礎セミナー
視能訓練士のためのロービジョンケア講習会 (第 1 回: 2015 年 9 月、第 2 回: 2016 年 10 月)	
ロービジョンケア講習会 (第 3 回: 2017 年 9 月、第 4 回: 2019 年 2 月)	
日本医療マネジメント学会 (2016 年度以降)	
視覚障害リハビリテーション研究発表大会 (第 21 回、第 22 回、第 23 回、第 24 回、第 25 回、第 27 回、第 28 回、第 29 回)	
視能訓練士ロービジョンケア研修会 (2019 年度、2021 年度)	
九州眼科学会 (第 89 回、第 90 回、第 91 回)	関東甲信越眼科学会 (第 55 回)

※7 一覧表 (1 日開催の学会)
チーム医療推進学会 (2020 年度以降)

●注意事項

- 2013 年 4 月現在、協会が協賛・共催する学会とは 2012 年度以降の日本臨床眼科学会と 2012 年度以降の日本眼科学会総会の 2 学会です。両学会については学会参加単位の他に視能訓練士プログラムの参加で 1 単位が認められます。
なお 2012 年 11 月までに開催された※1、2 の学会における視能訓練士プログラムのみの参加の場合は、サンデーパスなどの領収書のコピーの提出をもって 1 単位が認められます。
- 「視能訓練士のためのロービジョンケア講習会」と「ロービジョンケア講習会」と「実習施設指導者等養成講習会」は、修了証のコピーをつけてください。
施設見学研修をされた方は施設見学研修実施証明証のコピーをつけてください。
- 日本ロービジョン学会研修会 1・2 (2017 年および 2021 年以降開催) は、学会会期中に開催されたため単位が認められません。

4. 第74回日本弱視斜視学会総会（2018年開催：荒天により2日目中止）は、第74回日本弱視斜視学会総会の出席者は4単位（通常通り）、発表（口頭・展示）も通常通り単位取得できます。また基礎教育プログラムⅢ（視能矯正）の免除学会としても通常通り認められます。なお第34回日本弱視斜視学会講習会に関しては、参加および演者とも単位が認められません。
5. 新型コロナウイルスの影響で、学会が通常開催からweb配信による開催に切り替えられるケースがありますが、2020年度にweb配信となった生涯教育単位表に掲載されている学会等の単位につきましては、学会より発送されたネームカードのコピーまたは参加証明書（いずれも学会名、参加者名、領収書の掲載が必要）を添付して申請していただければ、規定通り単位取得可能となります。